

学校だより

始業式号

令和7(2025)年
4月8日(火)発行



札幌市立屯田中央中学校

TEL.011-771-5981

[URL] <https://www.tondenchuo-j.sapporo-c.ed.jp/>

1学期始業式の話

学校長

季節には節句があります。1月は人日（じんじつ）の節句、3月は上巳（じょうし）の節句、5月は端午の節句、7月は七夕の節句、9月は重陽（ちゅうよう）の節句です。3月は桃の節句、ひな祭りと言った方が一般的かもしれません。5月と7月は有名です。昔の人々の生活に根差し、季節の節目に行った行事かと思います。

さて、4月は学校としての大きな節目となります。気持ちを新たにしている人も多いのではないでしょうか。スタートの今だからこそ、ゴールを想像してください。来年の3月31日に、どんな自分になっていたいでしょうか。どこでどんなことをしているでしょうか？ どんなことができるようになっているでしょうか？ 1年間の成果はどんなことでしょうか？ ゴールを考えて、そのために、何をどうすればよいのかを考える、今はそんなことができる時期だと思います。

特に、3年生は卒業式が終わり、次のステップに進む直前の時期だと思います。理想の自分はどんな自分でしょうか？ 実現はできそうでしょうか？ 最初からあきらめる必要はありません。理想に向かっていくことが大切です。

2年生はいよいよ3年生になるという時期です。3年生になると「最後の〇〇」と、なんにでも最後という言葉が付きます。3年生は学校の顔です。3年生の行動を1・2年生はよく見ています。理想の3年生はどんな姿でしょうか？ 学校を代表し、より良い判断をし行動に移していくことのできる3年生になっていてほしいと思います。

次に、1年後の自分を想像したら、2学期の終わりにどうなっていればよいでしょうか？ 理想に向けて、どこまで進んでいればよいか考えてください。1学期の終わりにも同じように考えてください。また、ゴールデンウィークが始まる4月の終わりにはどうでしょうか？ ゴールを考えると、1年の節目のステップの目標も見えてくると思います。また、毎日の小さなステップを乗り越えていくことで、少しづつ理想の自分に近づいていくことができます。毎日の変化は目には見えないかもしれません。しかし、時間がたって振り返ってみると、今までの積み重ねが目に見える形になっているはずです。ただし、途中であきらめたり、やめてしまったら、積み上げることはできません。

話は変わりますが、ゲームでもスポーツでも、楽器演奏でも、なんでも毎回の少しづつの積み重ねが大切です。例えば、楽器演奏です。始めたときは、こんな風に演奏したい、こんな曲を演奏したい、プロの演奏家やアーティストのように演奏したいという理想があると思います。楽器を持った瞬間、理想通りに演奏できる人は、いないはずです。トランペットならマウスピースで音を出すだけで、1週間ぐらいかかるかもしれません。初めて音が出たとしても、演奏できるような音ではなく、とにかく騒音、雑音だと思います。ここで、自分には才能がないとあきらめてしまう人はあまりいないと思います。スポーツでも同じで、最初からプロの選手のようにはできないです。それでも、毎日毎日、地道な練習をしっかりと積み上げていくことで、1年後、2年後には立派に演奏したり試合で活躍できるだけの実力が付いているはずです。中学生の時期は練習した成果が大人よりも早く出ます。基礎・基本の練習を地道に続けていける人は、1年後、2年後にとっても上手になっています。勉強も同じだと思います。

新しい年の始まりだからこそ、1年後の理想を考えて目標をもってください。そして、あきらめたり放り投げたりしないで続けてください。始めることは簡単です。続けることは努力が必要です。毎日の結果は目に見えないだけに、続けることが難しいのです。今年1年、目標に向かって、努力し続けることができるようになることを期待します。

